

# 都小音研

令和3年12月16日第64巻439号

発行所  
東京都小学校音楽教育研究会

事務所  
東京都稲城市矢野口3635  
稲城市立南山小学校

## 禍は福へのステップ

東京都小学校音楽教育研究会  
副会長 金子陽子  
(板橋区立前野小学校)

令和3年11月現在、日本国内の新型コロナ感染者数は減少傾向にあり、昨年度から始まった様々な制約の下、大変な苦勞と努力で学校運営に携わっていただいた方たちへ感謝するとともに、このままコロナ禍が収束へと向かうことを切に願っております。

感染症対策が最優先の中、歌唱や管楽器等の音楽活動が制限されていた1年8か月。自治体の感染症ガイドラインを何度も確認しながらの音楽の授業。この間の先生方のご努力に頭の下がる思いです。感染状況が少しずつ落ち着き、感染症対策を継続しながら子供たちの歌声やリコーダーの音色が聴こえてきます。子供が奏でる音楽によって学校はこんなにも彩りが豊かになるのかと改めて気付かされます。



一度変わってしまった社会は不可逆的であり、今こそポスト・コロナの教育活動について考える時期かもしれません。GIGAスクール構想が加速され、第6波に備えタブレットを活用した音楽の授業の開発をしながら、子供主体の音楽の授業を考えてみませんか。

1月27日に山の手Cゾーン大会が「つなげよう 広げよう 生かそう 私たちの音楽」の大会主題で開催されます。先生方が思うように集まれない中、実施方法について何度も協議を重ね、動画視聴を最大限駆使した研究大会となります。音楽を通して子供たち同士、先生同士が「つながる」、そして「広げる」貴重な機会となることでしょう。

さてコロナ禍の「禍」の字が出てくる諺があります。

### 「禍福は糾える縄の如し」

災いと福とは、縄をより合わせたように入れかわり変転する。(大辞林より引用)

今回起きた「禍」は「福」へのステップと捉えられます。

人と一緒に音楽を聴き合うことの喜び、友達と一緒に声を合わせる喜び、悲しくなったり落ち込んだりした時に慰めたり励ましたりしてくれる自分にとって大切な楽曲との出会い。コロナ禍を乗り越える、今必要とされている力が音楽には溢れています。私たちが自信と誇りをもって音楽の素晴らしさを子供たちに伝えていきましょう。

新しい年が喜びに溢れることを願っています。今年の年末は、街中にベートーベンの第九が聴こえてくるでしょうか。「歓喜の歌」が皆さんの心の中に響き渡りますように。

# ♪ 令和3年度 都小音研 ♪ 各種研究会 活動紹介

都小音研の10の各種研究会では、研究会の実施方法を工夫しながら活動を続けています。

## 指揮法研究会

本研究会は「子供の表現意欲を引き出す指揮法の工夫」をテーマに研究を進めています。今年度は合奏曲の指揮法を学んでいます。実際に指揮をしたり、指揮を見ながら楽器を演奏したりすることで、指揮が変わると表現が変化するところを実感しながら学んでいます。星 悦子(新宿・落合第六小)

## 編曲研究会

本研究会では、制限のある中でも表現を深める学習ができるよう、自身の実践や教材を持ち寄って編曲検討を行っています。今年度もオンラインを併用し、夏季研修を含む月1回の研究会を継続してまいりました。今後も児童の実態や学習に寄り添った編曲ができるよう研究を進めてまいります。関口 遥(品川・浜川小)

## 合唱研究会

「鼓動の高鳴りを声にのせて歌いあげよう」は、コロナ禍においても揺るぎないテーマです。心の底から湧き上がる思いを基に、授業研究、課題曲研究、特別研究を行ってまいりました。1月は指揮・伴奏研究、2月は58回目の合唱祭も実施の予定であります。日尾 裕子(杉並・四宮小)

## 音楽授業研究の会

主体的・創造的に学ぶために、「問題解決型学習の過程」を通ります。本年度は「省察」に焦点をあて、深い学びに至る過程を追究しています。音楽科では何をどのように振り返るとよいのか、その時、教師は何をすればよいのかを考えています。立岩 恵子(江東・第一亀戸小)

## 合奏研究会

合奏研究会では、児童が合奏の喜びを味わえる授業を目標に、研究を続けています。外部講師による研修会の他、部員による実践発表、楽曲や指導法の交流等にも力を入れています。これからも器楽分野の充実を目指し、研究を深めてまいります。柴田 あゆみ(江戸川・臨海小)

## 管楽器研究会

8月5日の夏季ゼミナールには103名の参加があり、管楽器活動だけでなく日々の授業に活かせる内容として大変好評でした。毎月の例会も事前アンケートを行い、会員が主体となって研究会を進めています。今年度は万全な対策のもと2年ぶりの演奏会開催に向けてさらに研究を深めていきます。田辺 昭子(三鷹・第四小)

## 即興表現研究会

本年度は「先行き不透明な時代に対応する音楽づくりの在り方」をテーマに研究を進めています。様々な制限された状況下ではオンラインで、また、10月12日には十分に対策を施しながら研究授業を実施するなど、月1回の研究会を継続して参りました。先行き不透明な時代にあっても、主体的で対話的な音楽づくりを持続可能な学習として位置づけられるよう研究を進めてまいります。海老原 正剛(世田谷・尾山台小)

## 鑑賞指導研究会

音楽の好きな児童を育てる鑑賞の授業をめざして、楽しい授業づくりを研究しています。

『シンコペーテッドクロック』と音楽づくりを関連させた題材を検討し、1月21日(金)東村山市立秋津東小学校にて研究協議を行います。ぜひご参加ください。井上 奈々(荒川・尾久第六小)

## 邦楽教育研究会

邦楽研では、制限の多い中での研究ではありませんでしたが、8月23日に教職員研修センターと連携研修を行いました。箏と三味線の講師の先生方による、オンライン研修を実施し、演奏法の基礎や授業実践例など、具体的にご紹介いただきました。豊田 美千子(荒川・第三瑞光小)

## 電子楽器研究会

前期は、顧問の先生の講義と情報交換を中心にほぼオンラインで定例会を行いました。

10月以降は、実際に集まって、電子楽器を活用する編曲の方法や響きのつくり方を学んでいます。今後も電子楽器を活用した実践を研究していきます。陸田 祐子(世田谷・城山小)

\*連絡先・定例日は都小音研名簿P.76をご覧ください。

# 学ぶ理事会

7月9日、世田谷区立八幡小学校にて学ぶ理事会が行われました。

今回は、「もっと鑑賞が好きになる」音楽を味わって聴く力がぐんぐん身に付く鑑賞指導～クラスの誰もが音楽と一体になって取り組む魔法のプロセス～」をテーマに、音楽の授業をつくる会代表の栗飯原喜男先生を講師としてお迎えしました。

まず、音楽鑑賞は純主観の世界であり、それぞれ興味・関心は違うということ。学校における鑑賞指導は、指導と評価が加わり、感性を働かせ、磨き合うことであるというお話がありました。知覚(気付いたこと)と感受(感じたこと)のプロセスを重視(共通事項を手掛かりに)し、音楽を聴く耳を鍛え、さらに曲全体を聴き深めていく(味わう)ことで、音楽を味わって聴く力が育成されます。その際大切なことは、プロセスごとに聴くめあてをもたせるために、誰もが分かる発問を構築することです。

具体的な発問や活動の例を、いくつかの教科書教材を使って紹介いただきました。指導のねらいと共通事項が焦点化され、知覚→感受→味わうプロセスでは、どのような発問がよいのか、模擬授業形式で体験することができました。体を動かす活動や、比較聴取、学び合いの活動など、クラスの誰もがもう一度聴きたい、よく聴いた、と思える授業を組み立てることや、聴き方の深まりを可視化する評価方法を教えていただきました。

終始、栗飯原先生の軽妙な語り口で会場が笑いに包まれ、大変楽しい研修会でした。このような体験を子供たちにも味わってもらえるよう、これからの授業に生かしていきたいと思いました。



第64回

## 都小音研 研究大会 「山の手Cゾーン大会」

令和4年1月27日(木)

◆きゅりあん(品川区立総合区民会館)

都小音研 研究主題

「つなげよう 深めよう 生かそう 音楽の学びを」

山の手Cゾーン 大会主題

「つなげよう 広げよう 生かそう 私たちの音楽」

研究授業4本  
(動画視聴)

研究発表

研究演奏3本  
(動画視聴)

講演・講評

新型コロナウイルス感染予防対策として、各会場収容人数の半分を上限とし、都小音研ホームページで参加申込みを受け付けました。

なお、新型コロナウイルスの感染状況により、紙面のみでの開催に変更する場合があります。その際は都小音研ホームページにてお知らせしますので、随時ご確認ください。

都小音研ホームページ

(都小音研でも検索可)

<http://tosyouonken.com/>



# NHK全国学校音楽コンクール結果

感染症対策のため、東京都コンクールは音声審査で、関東甲信越ブロックコンクール、全国コンクールは全会場無観客で行われました。

なお、各校の演奏は、ホームページ内の「Nコン on the Web」で公開されています。

- 〈全国コンクール〉 【金 賞】 日野市立七生緑小学校  
【優良賞】 港区立白金小学校
- 〈関東甲信越ブロックコンクール〉 【金 賞】 日野市立七生緑小学校、港区立白金小学校  
【銅 賞】 町田市立鶴川第二小学校
- 〈東京都コンクール本選〉 【金 賞】 港区立白金小学校、日野市立七生緑小学校、町田市立鶴川第二小学校  
【銀 賞】 杉並区立桃井第四小学校、目黒区立大岡山小学校、文京区立本郷小学校  
【銅 賞】 府中市立本宿小学校、目黒区立東山小学校、日野市立旭が丘小学校

おめでとうございます

## 全国大会・ブロック大会

今年度予定されていた各研究大会は、感染症対策のため参加者人数を制限したり、オンラインを活用したりして行われています。地区と大会主題のみ紹介いたします。

全日本音楽教育研究会全国大会 八戸・三戸大会  
第69回 東北音楽教育研究大会 八戸・三戸大会  
第40回 青森県音楽教育研究大会 八戸・三戸大会  
「ひろげよう つたえよう こたえよう」

第63回 北海道音楽教育研究大会 空知岩見沢大会  
「わかる楽しさ できるよろこび わかちあう感動  
～響きあい 深まる音楽の学びをめざして～」

第63回 関東甲信越音楽教育研究会 山梨大会  
「確かな学び 広がる音楽  
～知覚・感受をもとにした音楽的思考力・  
判断力・表現力等の育成～」

第17回 東海北陸小中学校音楽教育研究大会  
福井大会

第14回 福井県学校音楽教育研究大会  
福井・鯖丹大会  
「求める 深める つながる 音楽の学び」

第63回 近畿音楽教育研究大会 京都大会  
「感じ取ろう 音楽の魅力 見つけよう 音楽の秘密」

第52回 中国・四国音楽教育研究大会 高知大会  
「かかわる つながる ひびきあう」

第62回 九州音楽教育研究大会 大分大会  
「感じとろう つながろう そして楽しもう  
～心豊かな未来を創造する音楽の学び～」

## ♪♪♪ 理事会報告 ♪♪♪

〈10月理事会〉 10 / 14 於：八幡小学校

議長：山根 まどか（稲城市・南山小）

○会長あいさつ

○議 事

- 11・12月の行事予定について
- 令和3年度 山の手Cゾーン大会について
- 第58回 児童作曲コンクールについて
- 各部より \*庶務 \*会計 \*研究  
\*調査 \*事業 \*広報

## ◆ゾーン代表者会議(10/14)報告◆

○会長挨拶、本部紹介

○各ゾーン代表者自己紹介とゾーンの活動報告

○令和3年度 山の手Cゾーン大会について

○令和4年度 山の手Dゾーン大会について

○ゾーンの再編成について

○今後の研究大会実施担当ゾーンの確認

○その他

## 編集後記

今だからこそできることを考えて授業づくりをして  
いるうちに、引き出しが増えたような気がします。そ  
の原動力になっているのは、やはり都小音研です。互  
いに励まし合い、深め合い、時には新規開拓もし、進  
化し続ける喜びを子供たちにも還元していきたいもの  
です。(K)

## 会報 都小音研

発行所：東京都小学校音楽教育研究会

発行人：会 長 峯 岸 敦 子

編 集：広報部

印 刷：コウシン 03-3324-9288